

## 第12号

発行 宝木地域づくり推進協議会

宝木地域コミュニティセンター内

(事務局)

〒320-0065 宇都宮市駒生町3364-29

(宝木小学校内)

TEL・FAX 028-624-0531

(印刷) DTP de-co

(題字 北條信男 書)



宮環、宝木小付近

宝木地区の自治会加入率は、平成11年をピークに減少傾向にあります。宝木地区は市内でも新築家屋が多い地区であります。しかし、高齢者住宅が空き家になることも多く、かつては官舎や社宅の居住者が自治会へ加入し地域活動に参画しておりましたが、これらが老朽化などで廃止されたことや最近の集合住宅居住者は自治会に加入しない方が多いなどが減少の原因と考えられます。

また集合住宅のオーナーの方には、賃助金などで自治会活動にご協力いただき感謝しておりますが、自治会へ加入していませんと居住者の氏名はもとより家族構成などもまったく分からず、もしもの場合の対応ができませんので、入居者にはそれぞれ自治会加入

自治会の加入率は60%台と低く、非常災害時の助け合いや防犯の観点から憂慮する状態にあります。良好な近隣関係と強固な連帯感を築くことにより、安心安全の日常生活を営むことができますので、お知り合いの方で未加入者がおりましたら、ぜひ加入をお勧めください。よろしくお願いいたします。

をご指導くださいますようお願いいたします。

## 自治会加入世帯が減少 宝木地区

自治会	1の1	1の2	1の3	2の1	2の2	宝木団地	西中丸	東中丸	細谷	駒生団地	計
平成23.4.1	219	400	195	520	1,020	600	1,020	310	270	96	4,650
(5年前) 18.4.1	230	440	210	470	910	800	1,016	320	260	86	4,772
(10年前) 13.4.1	230	485	215	450	850	900	952	340	240	95	4,777

# 自治会めぐり ⑩

## 県営駒生団地自治会

県営駒生団地自治会は、大谷街道を大谷方面に向かい、中丸公園と高麗神社の間の押しボタンの信号を北に入り健康の森（旧国立療養所）に面した県営の住宅団地で、昭和62年に4棟、翌年63年に1棟が建設され、合計

5棟9世帯の県営駒生団地です。地域的には西中丸自治会になりますが、当時の西中丸自治会会长の故天谷保一氏に相談したところ、県営住宅団地として1つの自治会で活動してはどうかという助言を受け、昭和62年木地区自治会連合会の10番目の単位自治会として発足し、現在に至つており小中学区エリアは宝木小、陽西中になります。

当初は県営住宅団地の新築でもあり知っている人は少なく、入居者は募集の6割50世帯程度で新しい自治会をつくりました。現在は、4階建の建物が5棟あります、1号棟、4号棟、5号棟が各16世帯で、2号棟3号棟が24世帯の合計96世帯で、宝木地区では最小の自治会として活動しています。団地内活動としては、毎月の団地内清掃や育成会活動の助成などを行っていますが、そ



県営駒生団地自治会役員

会長 本田 清二  
副会長 鈴木 礼子  
鈴木 美智子  
岡田 正則  
高橋 正人

評議員 神尾 正明  
五十嵐信一  
大貫 美基  
稻葉 英典  
監事 小太刀 緑  
神尾 洋子

## 宝木地区 防災訓練実施

3月11(日)宝木小学校と宝木地域コミュニティセンターを会場に地域住民の参加をえて消防署員の指導のもとに宝木地区防災訓練を実施する予定であり

しかし、当曰は1年前東日本大震災のあった日でもありますので、宝木地域コミュニティセンターの2階で学習中に地震が発生したとの想定で住民20名が屋外へ避難する訓練を行い、その後全員で避難ははじめや消火器の確認と119番への通報訓練を実施しました。

大震災を目の当たりにしたため、参加者はいずれも真剣に取り組みました。同じようなことを何度も繰り返し訓練しても、いざという時にはなかなか実践できないと言われておりますが、防災の知識経験が有るのと無いのでは大きな差があります。

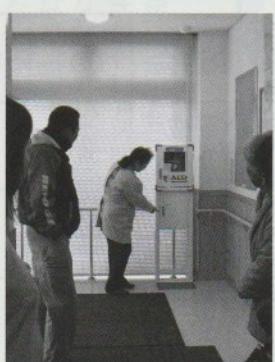


▲避難終了

## 東日本大震災被災者 救援募金の協力に感謝

昨年3月に発生した東日本大震災の被災者救援募金を自治会をと通して募集しましたところ、市全体で48,980,573円うち宝木地区は1,785,722円と多くの浄財を頂きました。このうち10%を市内の被災者へと宇都宮市へ90%を日本赤十字社へ昨年5月20日それぞれ寄託しました。

さらに11月20日(日)開催の「宝木まつり」当曰会場での募金と宝木まつり実行委員会からの拠出をあわせ40,000円を被災者救援募金として下野新聞社へ12月1日寄託しました。



▲AEDの確認

のほか体育祭、宝木まつり、防災訓練などの地区行事へ積極的に参加しております。

団地入居者の傾向としては、始めは若い世帯の家族が多く入居していましたが、最近は高齢者や母子家庭の世帯が増え約半数を数えており、今後の自治会活動や地域活動に大きな影響が出そうなことも想定されます。

この1年で、各家庭では備蓄物品の確保や避難先の確認など防災についての意識と関心は高まつたものと思われますが、いつ災害にあうかもそれませんので、物心ともに十分な準備をしておきましょう。

# 第8回宝木まつり開催

平成23年度宝木まつりは、夜來の雨もあがり好天に恵まれた11月20日(日)宝木小学校で開催しました。会場に例年どおり各自治会や地域内の各種団体の屋台や健康福祉、リサイクル、フリーマーケット、遊び、作品展などのコーナーや地元産の農産物即売、子ども映写会などが設けられ多くの人出で賑わいました。このほか廃油で作った石鹼や交通安全のガス風船の配布やペットボトルキヤップの回収などが行われました。

今回は、駒生幼稚園年長組100名の絵画展をあわせて行い、遊びのコーナーでは子どもと老人会の皆さんと一緒に輪投げを楽しみました。さらに、陽西中学校のよさこいチームがソーラン踊りで会場内を周回し、宝木中学校の吹奏楽部の見事な演奏、西が岡ダンス部の力強い踊りの披露などで多くの来場者を魅了しました。

また当日は、陽西中、宝木中の中学生ボランティア24名がまつりの運営にお手伝いいただき、お陰で極めて円滑に催すことができました。



# 講座案内

## たからぎ木曜講座

宝木地区一般成人を対象に木曜日に実施している講座です。今年度も50名を超える受講生が、毎回意欲的に参加し元気に活動しています。恒例となった古代史講話、AED講習会、館外研修やエコプラセンターの見学等、様々な体験や学習をし、地域活動への理解も深めています。



## あいあいスクール

宝木地区小学生の保護者を対象に実施している講座です。

今年度は絵本の読み聞かせやデジカメ教室、アロマ教室などもあり、講座で学んだことを家庭生活に役立ててもらっているようです。また、夏休みに親子で陶芸体験をし、出来上がった作品はどれもすばらしく、子供たちにもよい思い出となつたようです。



## わくわく広場

宝木地区小学生3～6年生を対象に土曜日に実施している講座です。

毎回、地区育成会の役員の皆さんにも指導協力をいただいています。今年度も古賀志山のハイキング、工作、料理、しめ飾りづくりなどの体験を通して、みんなで行動することを学んでいます。

## 編集後記

今年の冬はこのほか寒く、しかも節電とかで、「朝寝坊、昼ひなたぼっこで、夜早寝」の川柳どおりの生活をしたい思ひだ。大震災から1年、東北の被災者は仮設住宅で一段と冷えていることでしょう。1日も早い復旧復興と暖かい春が来ることを願わずにはいられない。

## ソフトテニス・バレー・ボール女子が優勝

(市民体育大会)

平成23年度の宇都宮市市民体育大会で宝木地区は、ソフトテニスとバレー・ボール女子がそれぞれ見事に優勝の栄冠を勝ちとりました。そのほかソフトボール(実年)とゲートボールがそれぞれ第3位となり、弓道、軟式野球とバレー・ボール男子がベスト8に入るなど堂々の成績でした。選手のみなさんに拍手をおくりましょう。

## ゴルフ大会の結果

宝木地区ゴルフ大会は、11月15日(火)日光市のサンレイク・ゴルフクラブで行われました。

当日は絶好のゴルフ日和、日ごろの練磨が成績に反映しましたが、参加者80名全員和気あいあいのうちにホールアウト。上位5名の成績で争う自治会対抗の結果は、次のとおりでした。

優勝	2の2自治会
準優勝	宝木団地自治会
第3位	1の1自治会

## 2の2が優勝

(23年度球技大会)

平成23年度の球技大会全9種目が終了し、各自治会の総合得点の結果次のようになりました。

優勝	2の2自治会
準優勝	宝木団地自治会
第3位	1の1自治会
準優勝	西中丸自治会

なお、敢闘賞は入賞自治会以外で全種目に参加した自治会の最上位ですが、該当ありませんでした。